

2. 発達に応じたかかわり（2） 1～2歳児

○1歳児

（声や言葉だけでなく _____ 大人との関わりを楽しむ頃）

- 保育者の声に合わせて、歌の一部を歌おうとする。
- 音楽を聴いて、リズムを取ったり手を叩いたり身体を揺らしたりする。
- 保育者の手遊びや動きを見て、自分なりにしようとする。
- 音の出るものに興味を持ち、鈴などの楽器を鳴らすことを楽しむ。

○2歳児

（ _____ の中で音楽的なことを楽しむ頃）

- 簡単な曲を覚えて保育者と一緒うたう。
- 簡単な手遊びやリズム遊びを保育者と一緒に楽しむ。
- 思いついた言葉に自由にメロディーをつけて歌ったり、鼻歌のように口ずさむ姿が見られる。
- 2歳児後半になると簡単な曲の最初から最後までを一人で歌うことができる。ただし、音程は不正確、歌詞は不明瞭な場合が多い。

○保育所保育指針第2章2. 1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容（抜粋）

領域「言葉」内容④絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣をしたりして遊ぶ。

領域「表現」内容②音楽、リズムやそれに合わせた体の動きを楽しむ。

領域「表現」内容④歌を歌ったり、簡単な手遊びや全身を使う遊びを楽しんだりする。

領域「表現」内容の取扱い④～諸感覚を働かせることを楽しむ遊びや素材～

○保育者のかかわり

- 簡単な童謡などを _____ で語りかけるように繰り返し歌い聞かせる。
- 身体を動かす簡単な遊び歌やリズム遊びを一緒に楽しむ。
※選曲のポイント
 - ・ 音の高低差が少なく、ゆるやかな旋律の曲
 - ・ リズムに乗りやすい曲
 - ・ 子どもが理解できる歌詞の曲 _____
- ひとり言のように歌っている時はむやみに声をかけずに見守る。
- _____ を大切にし、ピアノやCDに頼りすぎないようにする。

○オノマトペや繰り返しを楽しむ絵本

○1, 2歳児と楽しみたい遊び歌